

# 日本生薬学会第 67 回年会 第 11 回日中韓生薬学合同シンポジウムの延期のお知らせ

2020 年 5 月 7 日

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、日本生薬学会第 67 回年会 [2020 年 9 月 21 日 (日) ~ 22 日 (月)] および第 11 回日中韓合同シンポジウム [2020 年 9 月 20 日 (土) ~ 21 日 (日)] の開催を下記のように 約 1 年延期 させて頂くことを決定致しました。

延期の日程・場所については、以下のように予定致します。

**開催期間** : 2021 年 9 月 18 日 (土) ~ 20 日 (月)

**開催場所** : 星薬科大学 (変更なし)

年会と日中韓生薬学合同シンポジウム共に登録システムの準備は完了し演題の募集開始を目前にしておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が見られる現状において、皆様の安全を確保できないこと、また、感染症対策を徹底しても現実にはリスクをゼロにすることはできないと考えられます。現在、学生の研究活動も制限を受けているなかで若手研究者の参加が少ない年会では、開催意義が大きく損なわれてしまいます。リスクを冒して年会を開催し、大学、研究所、企業の方から一人でも感染者が出た場合、学会関係者のみならず各方面へ多大なるご迷惑をかけることとなります。既に多くの企業が出張の禁止や自粛の指示を出しており、シンポジウムや一般演題、企業展示のキャンセルも予想されます。

一方、日中韓生薬学合同シンポジウムでは、入国制限が解除されない状態では登録の開始はできません。特別シンポジウムは、長年業界が温めていた企画であり、諸条件を考慮して安全性に配慮しながら年会と併催形式で開催すること希望します。

これらのことを鑑み、当初予定していた会期での開催を断念して約 1 年延期し、2021 年東京 (会場 : 星薬科大学、日程 : 9 月 18-20 日) にて開催することを決定しました。

学会の準備や講演発表のためにご尽力いただいた会員及び団体の皆様、ご協賛企業の皆様、ご参加を予定されていた皆様におかれましては、多大なるご迷惑をおかけすることになりましたこと、心よりお詫び申し上げます。

諸事情をご賢察いただき、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

日本生薬学会会長 : 松田久司

日本生薬学会第 67 回年会会長 : 森田博史

第 11 回日中韓生薬学合同シンポジウム実行委員長 : 市瀬浩志